



政府統計

報道関係者 各位

平成 27 年 2 月 12 日

【照会先】

大臣官房統計情報部

人口動態・保健社会統計課 世帯統計室

縦断調査管理官 越路 幹男

室長補佐 田野 淳子

(担 当) 中高年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7594)

(直通電話) 03-3595-2323

第9回「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の結果

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の第9回(平成 25 年)結果を取りまとめましたので公表します。今回は縦断調査の特性を生かし、就業や生活設計等に関する過去の調査時の希望内容と、現在(第9回調査時)の状況との対比等に着目して分析しました。

「中高年者縦断調査」は、平成 17 年 10 月末に 50～59 歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第9回調査では、平成 17 年度の第1回調査から協力が得られた 21,556 人について集計しており、調査対象者の年齢は、58～67 歳となっています。

【調査結果のポイント】

1 就業希望と求職の状況

第8回調査時(1年前)に就業を希望していたが第9回調査で「仕事をしていない」者のうち、引き続き就業を希望する割合は 66.0% (4ページ 図2)

2 再雇用制度の利用状況

第8回調査時に自営業関係以外の仕事をしていた者のうち、その仕事に就くに当たり再雇用制度を利用していた割合は、第8回では 22.4%、第9回まででは 30.4%となっており、8ポイント増加 (5ページ 図3)

注:「自営業関係以外」とは、仕事のかたが会社・団体等の役員、正規の職員・従業員、パート・アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託をいう。

3 生活のまかない方の希望と実態

第1回調査時(8年前)に 60 歳以降の生活のまかない方を、主に「働いて得た所得(本人)」でまかなうつもりだった現在 60～67 歳の者のうち、第9回の収入に「働いて得た所得」がある割合は 70.3%

(7ページ 表4)

調査結果の詳細は、別添概況を参照ください。